

令和 4 年 5 月 25 日
学校法人 大乘淑徳学園

令和 3 年度の資金運用結果について

令和 3 年度の金融市場は、新型コロナウイルス変異株の感染拡大と、経済の急回復に伴う混乱や緩和的な金融政策の転換がテーマとなりました。後期に入り、強い需要と供給制約のもと米国での物価上昇が止まらず、グローバルに波及しました。

欧米に加え、国内にも金融政策正常化の思惑が広がり 2 月には国内長期金利は 0.23% まで上昇し、日銀は指値オペを通知しました。同月ロシアがウクライナに侵攻しエネルギーなどの商品価格が急伸しました。市場の期待インフレは上昇し、欧米金利も上昇を続けました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、令和 3 年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に令和 3 年度の資金運用結果についてご報告いたします。

1 預金（期末残高 115 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなかから、利率面で有利なところへ預け入れを行いました。日銀による長短金利操作付量的・質的金融緩和が継続するなかでの結果となりました。

運用益は 2,543 万円（利回り約 0.22%）となりました。

2 社債（期末残高 約 100 億円）

社債については、1 銘柄 1 億円が償還し、電力会社の劣後債 1 銘柄 3 億円、生保等の劣後債 3 銘柄 23 億円を新規に購入しました。

運用益は 8,878 万円（利回り約 0.89%）となりました。

3 金融債（期末残高 約 25 億円）

金融債については、海外の大手金融機関の債券 1 銘柄 10 億円を新規に購入しました。

運用益は 1,573 万円（利回り約 0.63%）となりました。

4 その他（期末残高 44 億円）

元本確保債券型種類株約 1 億円とクレジットリンク債 5 銘柄 25 億円が償還しました。低金利のなかで安全で一定のクーポン収入が期待できるクレジットリンク債 1 銘柄 5 億円を新規に購入しました。

運用益は 4,702 万円（利回り約 1.07%）となりました。

以 上